

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月23日

計画の名称	大規模震災時に優先して啓開すべき道路の整備（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	宮崎県											
計画の目標	南海トラフ地震の発生による甚大な被害が危惧されるため、「九州道路啓開計画」に基づく緊急輸送ルート及び緊急輸送道路の防災・改良工事を推進し、緊急通行車両の走行及び救命・救助活動を支援する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	27,870	A	27,870	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29末	H32末	H34末
1	・緊急輸送道路等のネットワーク整備を行うことにより、（走行短縮時間×交通量）を増加させる。 （走行短縮時間×交通量を算出） =（箇所N1の整備前の走行時間×箇所N1の交通量）-（箇所N1の整備後の走行時間×箇所N1の交通量）（h・台/日）	0（h・台/日）	63（h・台/日）	89（h・台/日）

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)265号・十根川 工区	バイパス L=2.8km	椎葉村						4,000	-	
	A01-002	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)327号・佐土の 谷工区	バイパス L=3.4km	椎葉村						4,200	-	
	A01-003	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)219号・小春工 区	バイパス L=1.7km	西米良村						3,420	-	
	A01-004	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)327号・尾平工 区	バイパス L=2.0km	椎葉村						4,100	-	
	A01-005	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)219号・岩下工 区	バイパス L=1.0km	西都市						1,700	-	
	A01-006	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)219号・越野尾 工区	現道拡幅 L=0.7km	西米良村						950	-	

A 基幹事業																								
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況					
												H30	H31	R02	R03	R04								
		一体的に実施することにより期待される効果																						
		備考																						
道路事業	A01-007	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県		国道	改築	(国)219号・古仏所 工区	現道拡幅 L=1.8km	西都市						400		-				
	A01-008	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県		国道	改築	(国)448号・石波工 区	バイパス L=3.2km	串間市						7,780		-				
	A01-009	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県		国道	改築	(国)219号・越野尾 5工区	現道拡幅 L=5.4km	西米良村							1,320		-			
													小計						27,870					
													合計						27,870					

交付金の執行状況

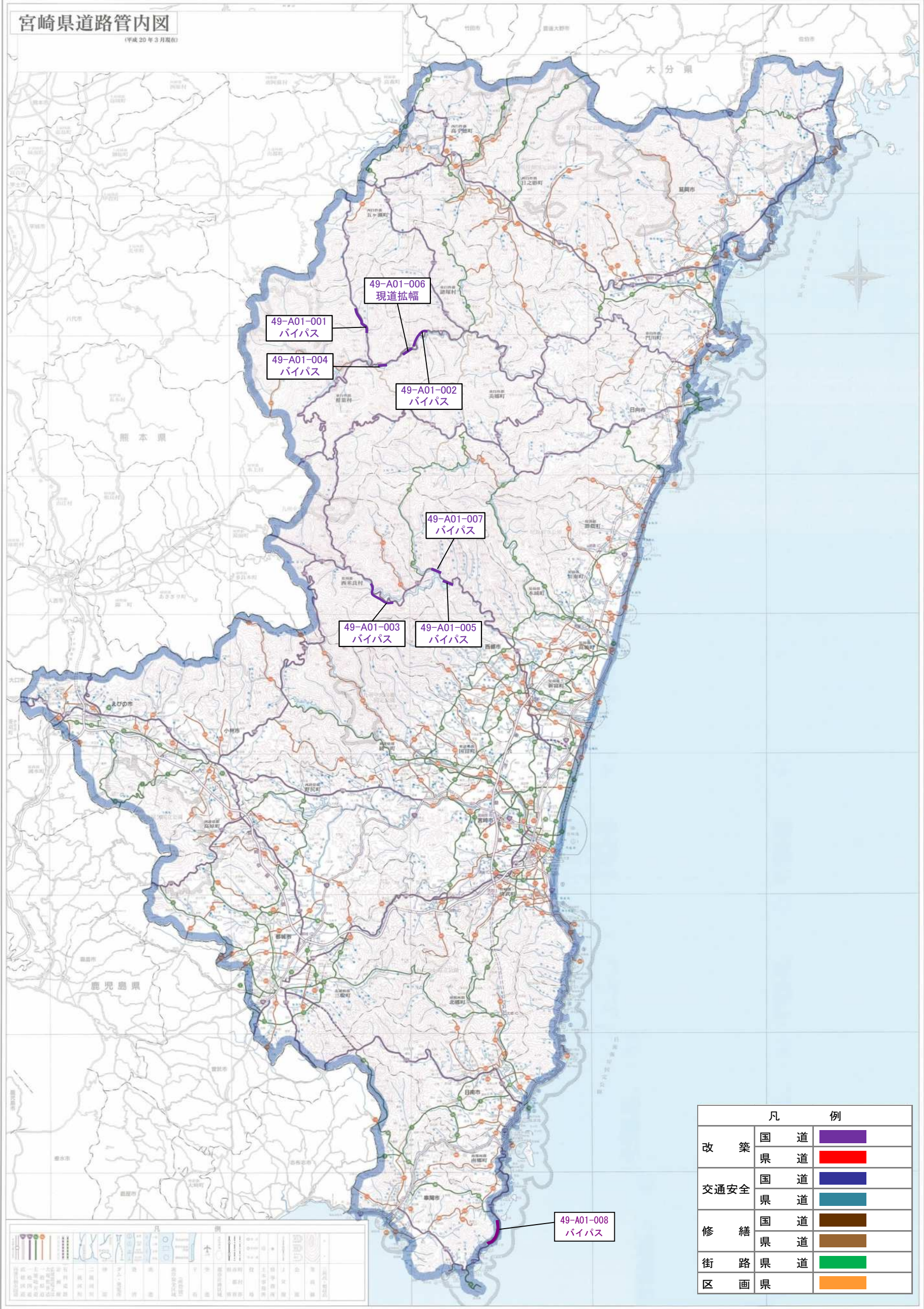
(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	2,127				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	2,127				
前年度からの繰越額 (d)	836				
支払済額 (e)	2,206				
翌年度繰越額 (f)	757				
うち未契約繰越額(g)	17				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0.57				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称 49 大規模震災時に優先して啓開すべき道路の整備 (防災・安全)
 計画の期間 平成30年度～平成34年度 (5年間)

交付団体 宮崎県



凡 例		
改 築	国 道	■ (Purple)
	県 道	■ (Red)
交通安全	国 道	■ (Dark Blue)
	県 道	■ (Teal)
修 繕	国 道	■ (Dark Brown)
	県 道	■ (Light Brown)
街 路	国 道	■ (Green)
	県 道	■ (Orange)
区 画	県	■ (Orange)

平成二十年三月 宮崎県国土整備部監製

事前評価チェックシート

計画の名称： 大規模震災時に優先して啓開すべき道路の整備（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性等 3) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 事業の効果 1) 事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	○
I. 目標の妥当性 円滑な事業執行の環境 1) 実施工程に則して実施期間が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地元の機運 1) 地元の機運が醸成されている。	○